

令和4年11月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

八江 利春 議員

スポーツの振興について

(1) 国体結果の総括と今後の取組について

長崎国体での天皇杯獲得から数年で順位が低迷しており、危機感を感じている。栃木国体の総合成績45位という結果を、県はどのように総括し、今後どのように取り組むのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

栃木国体では、本県選手団は日頃の練習の成果を発揮できますよう懸命に大会に臨みましたが、これまで得点源でありました少年種別の入賞が大幅に減少しましたことから、改めて、ジュニア層におきまして、確実に得点が期待できる個人競技の選手育成と、接戦を勝ち抜く団体競技の強力なチームづくりの重要性を認識したところであります。

併せて、今回の大会では、国体に照準を合わせた選手や選抜チームの強化、また全国レベルの大会で力を発揮できる指導者の育成も大きな課題となりました。

このため、競技団体に対しましては、鹿児島国体に向けた具体的な目標設定と年間強化計画の作成を早期に求めますとともに、国体の主力となる高校生を重点的に強化するための事業の見直しを進めてまいります。

さらに、県スポーツ協会等と連携し、指導者の県外研修への派遣や県内外の全国的な実績を持つ指導者を招きました研修会を拡充するなど、全国レベルの選手育成や強化に欠かせない優秀な指導者の育成に努めてまいりたいと考えております。

競技力向上のための組織体制の改善や強化費の確保についてはどのように取り組むのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

まずは、いまお話にありました「長崎県競技力向上対策本部」が中心となりまして、県スポーツ協会、各競技団体、関係機関と国体強化に向けました役割と連携の在り方につきまして改めて確認して、組織体制の強化を進めていきたいと考えているところでございます。